

製品番号 VJ-9057

保証書別添付



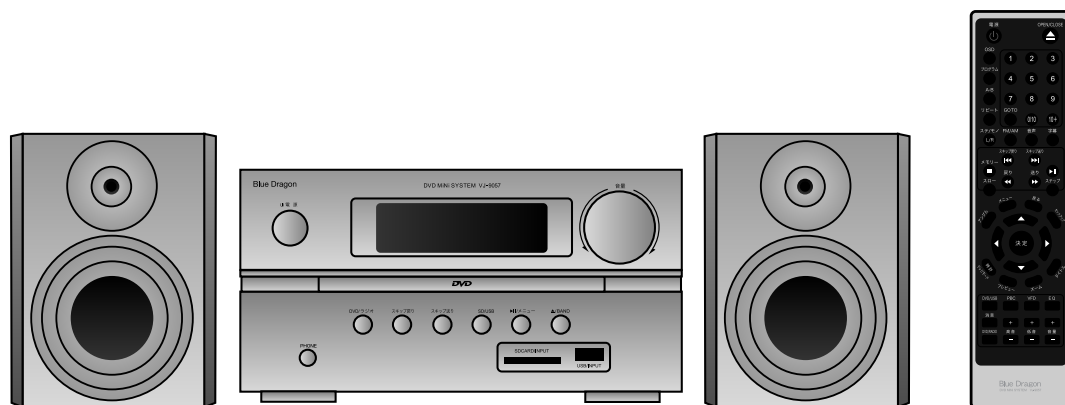
DVD Mini SYSTEM

取扱説明書

このたびは、DVD Mini SYSTEMをお買い上げいただき、
まことにありがとうございました。



Blue Dragon Audio しっかり読んで使い方を覚えてください。



■この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全の注意」はご使用前に必ずお読み頂き、安全にお使いください。

■お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

	ページ		ページ
安全の注意	1～3	ラジオを聞く	19
警告……………	1～2	FM放送/AM放送を受信する……………	19
注意……………	3	ディスクを再生する	20
CD・DVDについて	4	オーディオCD・DVDビデオディスクの再生について……………	20
USBメモリーについて/SDカードについて	5	メニューが表示された時……………	20
本機で再生できるディスク	6	オーディオCDの再生……………	20
付属品の確認/リモコンについて	7	外部メディアの読み込みについて	21
設置の準備	8	USBメモリー/SDカードの接続……………	21
本機の設置・お手入れ……………	8	USBメモリー/SDカードの読み込み……………	21
各部の名前	9～10	いろいろなファイル形式を再生する	22
リモコンについて……………	9	読み込み可能なファイル……………	22
本体について……………	10	ファイルを選択する……………	22
接続の仕方	11～16	MP3・WMAファイルの再生……………	22
スピーカー……………	11	JPEGファイルの再生……………	22
AMループアンテナ……………	12	DIVXファイルの再生……………	22
FMアンテナ/外部出力……………	13	再生言語を切り換える	23
外部デジタル音声出力/光デジタル音声出力……………	14	音声を切り換える……………	23
本体とモニターを接続する……………	15	字幕表示を切り換える……………	23
正しく接続されているか確認する……………	16		
テレビタイプをかえる	17		
テレビの画面タイプに合わせる……………	17		
本体の基本操作	18		
時計の設定をする……………	18		
電源を入れる/切る……………	18		
音量を調節する……………	18		
音を消音する……………	18		
低音を強調する……………	18		
高音を強調する……………	18		
イコライザー機能……………	18		

もくじ(つづき)

ページ	ページ
再生中のいろいろな操作 24～32	初期設定を変更する 33～38
OSDを表示する(動画).....24	システムセットアップ.....33～34
OSDを表示する(音楽・MP3).....24	言語設定.....35
好きな順番に再生する(動画).....25	オーディオセットアップ.....36
好きな順番に再生する(MP3).....26	映像出力.....37
任意の区間を繰り返し再生する(動画・音楽・MP3).....26	スピーカーセットアップ.....38
繰り返し再生する(動画).....27	デジタルセットアップ.....38
繰り返し再生する(音楽).....27	
繰り返し再生する(MP3).....27	ヘッドホン(別売)を使って聞く 39
指定した位置を再生する(動画).....28	仕様について 39
指定した位置を再生する(音楽・MP3).....28	
ステレオ/モノラルを切り換える(音楽・MP3).....29	故障かな?と思ったら 40～41
スキップ戻る・送る(動画).....29	
スキップ戻る・送る(音楽・MP3).....29	Q&A(よくあるご質問) 41
再生を停止する(動画・音楽・MP3).....29	
1コマずつ再生する(動画).....29	保証とアフターサービス 42
倍速で戻る(動画・音楽・MP3).....30	
倍速で送る(動画・音楽・MP3).....30	
低速で送る・戻る(動画・音楽・MP3).....30	
低速で送る・戻る(動画・音楽・MP3).....30	
アングルをかえる(動画).....31	
メニュー再生のオン・オフ(動画).....31	
1つ前の選択画面に戻る(動画).....31	
タイトル画面を表示する(動画).....31	
拡大・縮小して表示する(動画・画像).....31	
プレビュー画面を表示(VCD).....32	
映像出力を切り換える.....32	
音をフラットにする(VCD).....32	

安全上の注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害または故障の原因を未然に防止する為に、必ずお守り頂く事を、次の様に説明しています。

表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

- **警告** この表示欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
- **注意** この表示欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)

-  このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
-  このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

電源コードについて

電気コード・プラグを破損するようなことはしない
(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり引っ張ったり重い物を載せたり、束ねたりしない)
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
● 抜くときは、プラグを持ち、まっすぐ抜いてください。
● コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。



雷について

雷が鳴ったら、アンテナ線や機器、電源プラグに触れない
感電のおそれがあります。



ご使用について

SDメモリーカードは乳幼児の手の届く所に置かない
誤って飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。



電源プラグのほこり等は定期的に取る。

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。
● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
● 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。



電気プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。



コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない。

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



濡れた手、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。



機器内部に金属を入れたり、水などの液体をかけたり濡らしたりしない

ショートや発熱により火災や感電の原因になります。



⚠ 警告

ご使用について

分解、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
●内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。



もし異常が起きたら

異常があったときは電源プラグを抜く

- 機器内部に金属や水などの液体、異物が入った時
- 煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- 販売店にご相談ください。



リモコン用乾電池について

電池は誤った使い方をしない

- ⊕と⊖を逆に入れない。
- 乳幼児の手の届くところに置かない。
- 新・旧電池や違う種類の電池を一緒に使わない。
- ⊕と⊖を針金などで接続しない。
- 乾電池は充電しない。
- 加熱・分解したり、水などの液体、火の中に入れたりしない。
- 金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない。
- 乾電池の代用として充電式電池を使わない。
- 被覆のはがれた電池を使わない。



電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする

- 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがが原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師に相談ください。



使い切った電池は、すぐに機器から取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。



⚠ 注意

設置・接続について

放熱を妨げない

内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。



湯煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。



屋外アンテナの設置・工事は自分でしない

強風でアンテナが倒れた場合に、感電やけがの原因になることがあります。

- 設置・工事は販売店にご相談ください。



不安定な場所に置かない

- 上に大きな物、重いものを載せない。
 - 壁や天井に取り付けない。
- 機器が落ちたり倒れたりしてけがの原因になることがあります。



異常に温度が高くなる場所に置かない

機器表面や部品劣化するほか、火災の原因になることがあります。



スピーカーは付属のものを接続する

付属以外のスピーカーを接続すると、スピーカーが発熱し火災の原因になることがあります。



持ち運びについて

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとする、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。



ご使用について

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



ディスクトレイの挿入口の奥に手を入れない

閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。
●特にお子様にはご注意ください。



機器に乗らない

倒れたりして、けがの原因になることがあります。
●特にお子様にはご注意ください。



電池について

長時間使わない時は、リモコンから電池を取り出す。

電池の液もれ・発熱・発火・破裂などをおこし火災や周囲破損の原因になることがあります。

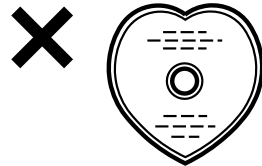


CD・DVDについて



マークが入ったものをご使用ください。

特殊形状(ハート型や星型) CD・DVDはご使用にならないでください。
上記ロゴマークの入ったものなど、規格に合致したディスクをご使用下さい。また、違法にコピーしたディスクや規格外ディスクを使用すると正しく再生できない場合がありますのでご使用にならないでください。



■次のディスクは本機では再生できません。

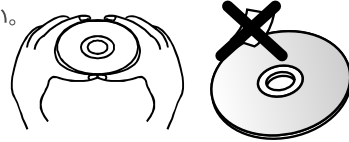
※DVDオーディオ、SACD、音楽CD(およびVCD、MP3、JPEGディスク)以外のCD、DVD-RAM。

※録画機器、録画状態やディスク製造上の問題で再生できないディスクがあります。

取扱上の注意

ディスクの取扱いについて

- ディスクを汚さないように、再生面には触れないでください。
- ディスクに紙やテープを貼らないでください。
- ディスクを取出しできない原因となります。
- ディスクに直射日光や熱源を当てないでください。
- 再生後はディスクケースに保管してください。



データの破損について

お客様の取扱いや、静電気、電氣的ノイズ、衝撃、または機器の故障により、ディスクやデータが破損した場合の損害については、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ディスクの掃除

再生前(光っている面)に、きれいなやわらかい布でディスクの中心から放射状に拭いてください。



結露について

結露が発生した場合、ディスクを本製品に挿入すると、ピックアップレンズやディスクに水滴がつくことにより、ディスク信号が読み取れず正常に動作しないことがあります。本製品はよく乾燥した状態でお使いください。

結露が発生してしまった場合は、本体の電源をいれたまま、乾燥のため数時間放置してください。

音のエチケット

楽しい音楽や、映画の音も、場合によっては気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。、夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。



SDメモリーカードについて

本機で使えるSDメモリーカードについて

- SDメモリーカード、miniSD™ カード(専用アダプターが必要です)が使えます。
- 使用可能なSDメモリーカード
8MB、16MB、32MB、64MB、128MB、256MB、512MB、1GB、2GBまでとなります。
- 使用可能領域は表示容量より少なくなります。
- ※2GB以上のSDメモリーカードに関しては動作致しませんので2GB以下の物をご使用ください。

SDメモリーカードの取扱いに関する注意

- 小さなお子様の手の届く場所には、SDメモリーカードを絶対に置かないでください。誤って飲み込み、窒息する危険があります。万一飲み込んだ場合は直ちに医師の診断を受けてください。
- SDメモリーカードに貼られているラベルははがさないでください。また、新たにラベルやシールを貼らないでください。
- SDカードを取り外す際には本体の電源をお切りください。
- SDメモリーカードに鉛筆やペンで文字などを書かないでください。SDメモリーカードが故障したり、データが損傷する場合があります。
- SDメモリーカード内の大切なデータはパソコン等にバックアップを取っておくことをお勧めします。
- ※SDメモリーカード本体及びデータに関しては一切保証は致しません。
- 煙が出たり、変なにおいがする等異常を感じたら、すぐにご使用をやめ、電源をお切りください。
- SDメモリーカードの分解や改造は絶対にしないでください。
- SDメモリーカードにはプラスチック、金属部品が含まれています。燃えると危険ですので、廃棄する場合は各自治体の指示に従ってください。
- SDメモリーカードを挿入したまま本体を移動しないでください。移動中に落としてしまったり、物に当てるなどしてしまったりした場合、破損したりけがをする原因となります。
- SDメモリーカードの保管場所に関して次のことに注意してください。故障の原因となります。
- ・湿気やホコリ、油煙の多い場所で使用、保管しないでください。
- ・直射日光の当たる場所やストーブやヒーターなどの熱源のそばで使用、保管しないでください。
- ・密閉された自動車の中(とくに夏期)などに長時間放置しないでください。
- SDメモリーカードの端子部に指や金属で触れないでください。故障の原因となります。
- SDメモリーカードに物を当てたり、投げる、落下させるといった強い衝撃を与えないでください。

USBメモリーについて

本機で使えるUSBメモリーについて

- 本機で再生できるUSBメモリーのファイルはJPEG、WMA、MP3、のいずれかで、DRMコピープロテクト(著作権保護)のかかっていないファイルのみです。USBメモリーのDIVXファイルを再生することはできません。
- 本機とパソコンをUSBケーブルで接続して音楽ファイルや画像ファイルを再生することはできません。
- USBハブには対応していません。
- 容量の大きいUSBメモリーを接続したときは、読み込みに多少時間がかかることがあります。
- U3機能対応・指紋ロック・セキュリティ機能がついているUSBメモリー機器には対応していません。
- USBメモリー機器は、容量が2GB以下(1パーティション)の物で動作します。
- ※2GB以上のUSBメモリー機器に関しては動作致しませんので2GB以下の物をご使用ください。

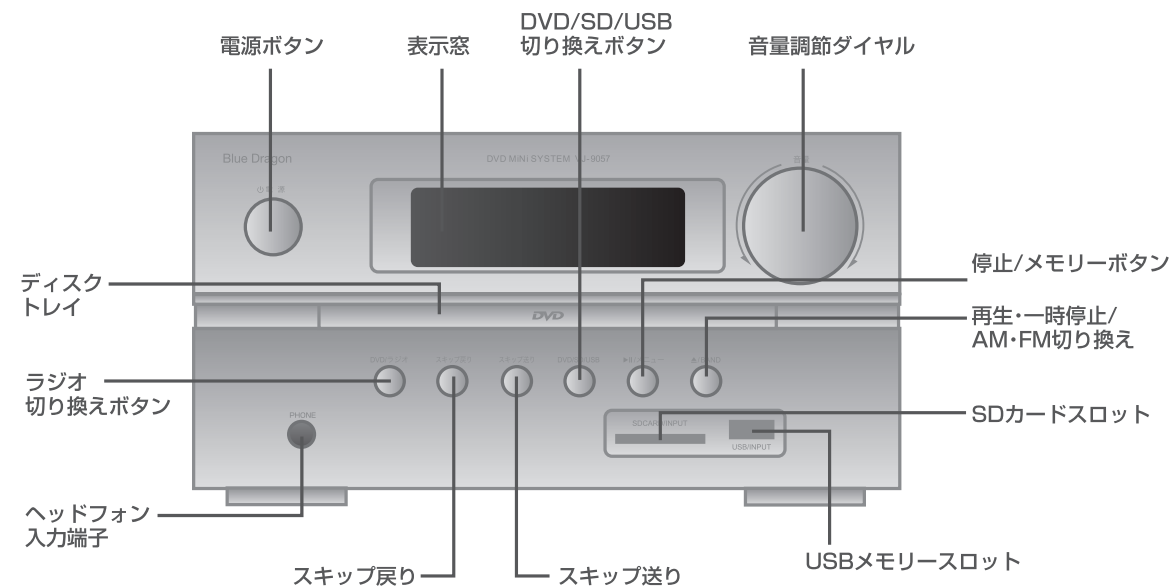
USBメモリーの取扱いに関する注意

- USBメモリーを取り外す際には電源をお切りください。
- 重要データはあらかじめバックアップをお取りください。
- ※USBメモリー本体及びデータに関しては一切保証は致しません。
- USBメモリーの読み込み中にUSBメモリーを取り外すこと、フタを開けること、電源を切るとはやめてください。本体の故障、またはUSB内のデータ損傷の原因となります。
- USBメモリーの操作はリモコンでおこなってください。本体での操作をおこなうことはできません。
- ※USBメモリー本体及びデータに関しては一切保証は致しません。
- 小さなお子様の手の届く場所には、USBメモリーを絶対に置かないでください。誤って飲み込み、窒息する危険があります。万一飲み込んだ場合は直ちに医師の診断を受けてください。
- 煙が出たり、変なにおいがする等異常を感じたらすぐにご使用をやめ、電源をお切りください。
- USBメモリーの分解や改造は絶対にしないでください。
- USBメモリーにはプラスチック、金属部品が含まれています。燃えると危険ですので、廃棄する場合は各自治体の指示に従ってください。
- USBメモリーを挿入したまま本体を移動しないでください。移動中に落としてしまったり、物に当てるなどしてしまったりした場合、破損したりけがをする原因となります。
- USBメモリーの保管場所に関して次のことに注意してください。故障の原因となります。
- ・湿気やホコリ、油煙の多い場所で使用、保管しないでください。
- ・直射日光の当たる場所やストーブやヒーターなどの熱源のそばで使用、保管しないでください。
- ・密閉された自動車の中(とくに夏期)などに長時間放置しないでください。
- USBメモリーに物を当てたり、投げる、落下させるといった強い衝撃を与えないでください。

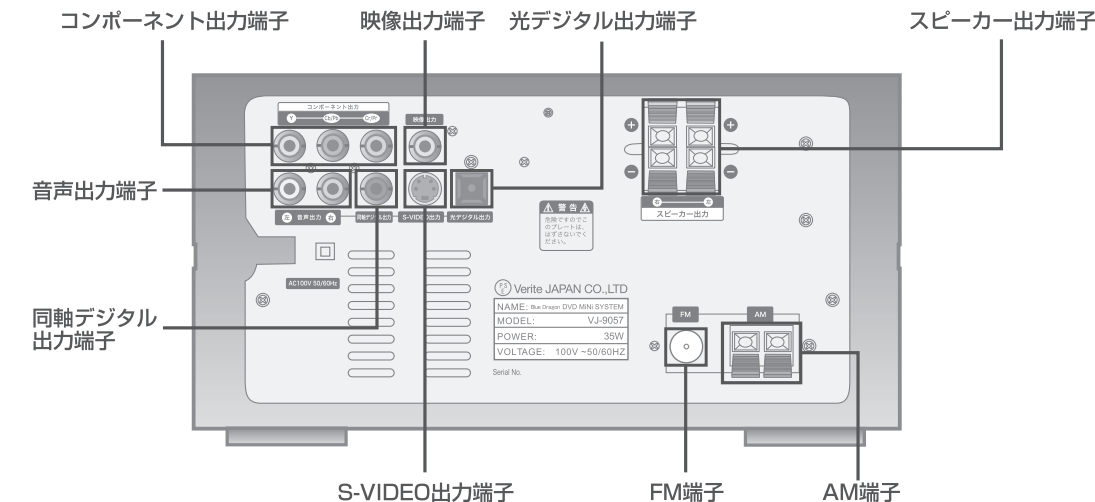
各部のなまえ

本体について

本体正面



本体背面



接続の仕方

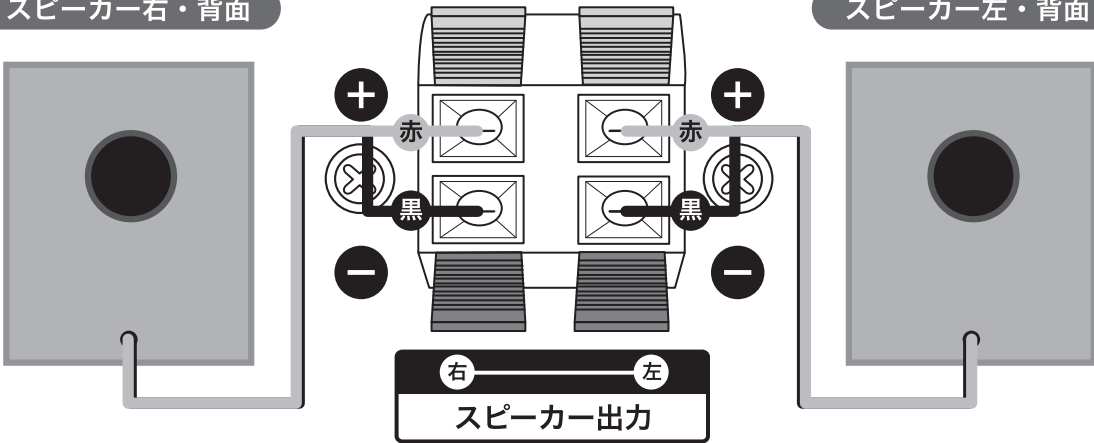
スピーカー

※スピーカーには左右の区別はありません。

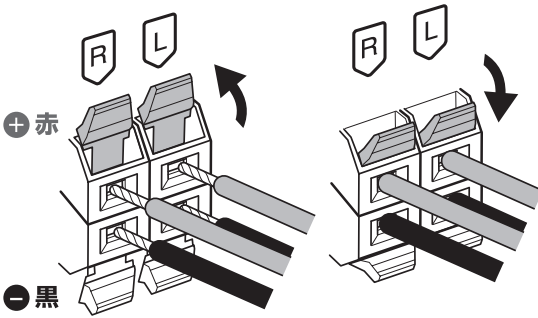
本体背面

スピーカー右・背面

スピーカー左・背面



- 1 端子のレバーと同じ色のスピーカーコード(赤+ 黒-)をつなぎます。
- 2 右スピーカーは **R** に左スピーカーは **L** に接続して下さい。
- 3 スピーカーも本体同様に接続して下さい。



レバーを上にあげてスピーカーコードを奥まで差込んでください。

注意

- ・スピーカーは付属のものを接続してください。
- ・誤った接続をしないでください。
- ・本体とスピーカーは1cm以上離してください。

本機で再生できるディスク(DVD/CD)

下の表のディスクが再生できます。

種類	メディア	ロゴ	内容	サイズ	再生時間
DVD ビデオ	DVD		オーディオ+ ビデオ(動画)	12cm	約2時間(片面ディスク) 約4時間(両面ディスク)
CDDA	オーディオCD		オーディオ	12cm	約74分
				8cm	約20分
VCD	ビデオCD		オーディオ+ ビデオ	12cm	約74分(SVCD約40分)
				8cm	約20分
MP3	データDVD/データCD/ USBメモリー		オーディオ		
JPEG	データDVD/データCD/ USBメモリー		静止画		
DivX	記録したメディア		オーディオ+ ビデオ(動画)		

 本機はドルビーデジタルサラウンドに対応しています。

次のディスクは本機では再生できません

※DVDオーディオ、SACD、音楽CD(およびVCD、MP3、JPEGディスク)以外のCD、DVD-RAM。

※録画機器、録画状態やディスク製造上の問題で再生できないディスクがあります。

※バージョン4.11、5.11、6.11以外のDivXファイルは再生できません。

データの破損について

お客様の取扱いや、静電気、電氣的ノイズ、衝撃、または機器の故障により、ディスクやデータが破損した場合の損害については、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

用語の説明

タイトル

DVDの映像または音楽は幾つかのユニットに分かれており、その中で最大のユニットをタイトルといいます。DVDソフトによっては、タイトルが1つのみのディスクもあります。

チャプター

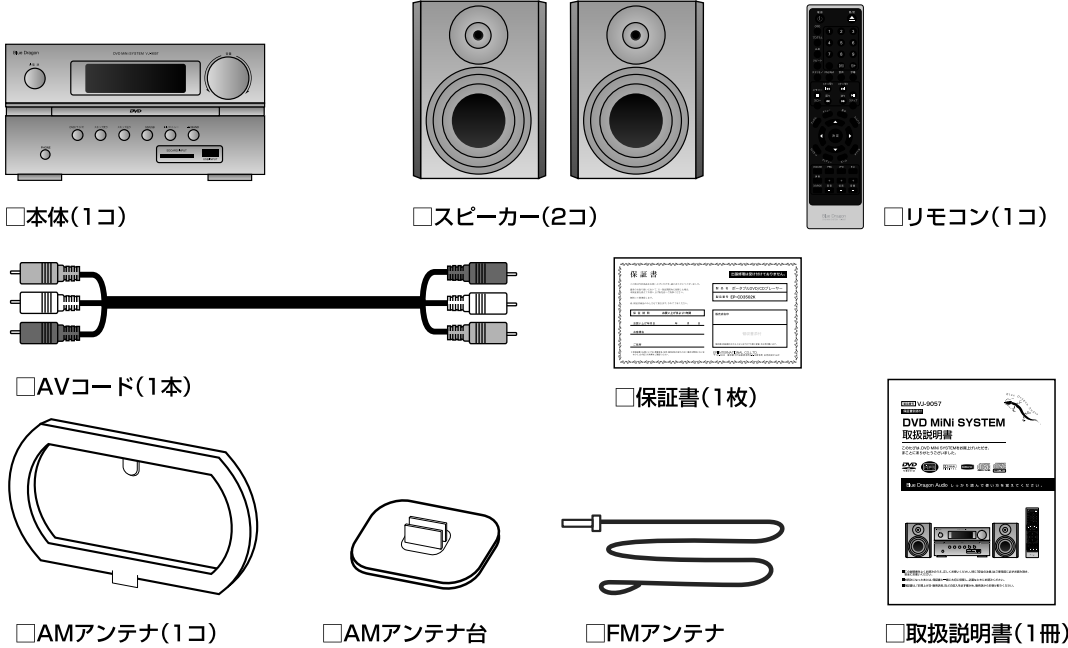
タイトルは数個のチャプターからなり、各チャプターにはチャプター番号が付いています。DVDソフトによってはチャプター番号がついていないディスクもあります。

トラック

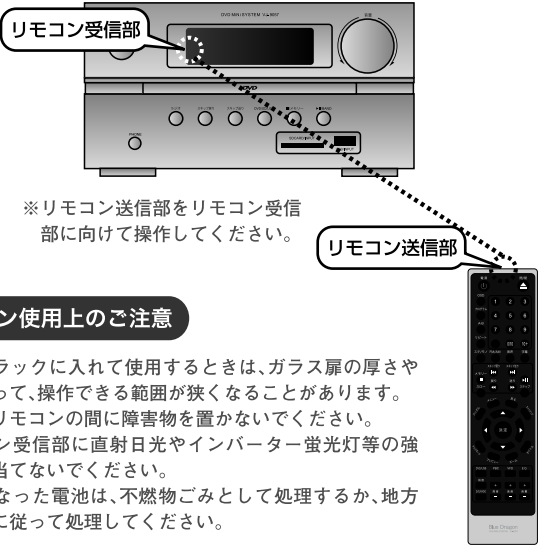
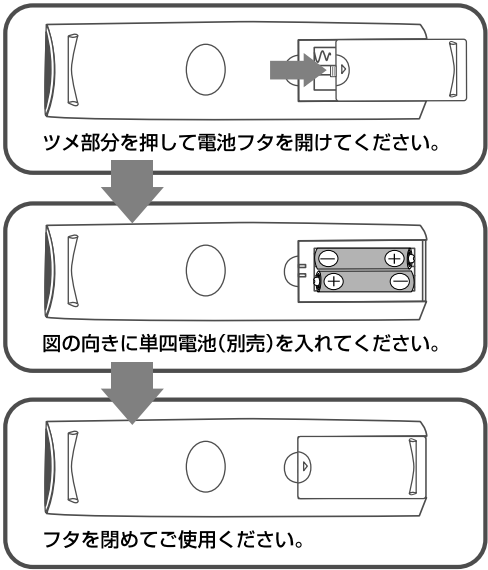
CDではディスクは複数のトラック(曲)に分けられています。各トラックにはサーチ用のトラック番号が付いています。CDソフトによっては、トラック番号が付いていないディスクもあります。

付属品の確認/リモコンについて

付属品の確認 ※全て揃っているか最初に確認してください。



リモコンについて



リモコン使用上のご注意

- 本体をラックに入れて使用するときは、ガラス扉の厚さや色によって、操作できる範囲が狭くなることがあります。
- 本機とリモコンの間に障害物を置かないでください。
- リモコン受信部に直射日光やインバーター蛍光灯等の強い光を当てないでください。
- 不要になった電池は、不燃物ごみとして処理するか、地方の条例に従って処理してください。

設置の準備

本機の設定・お手入れ

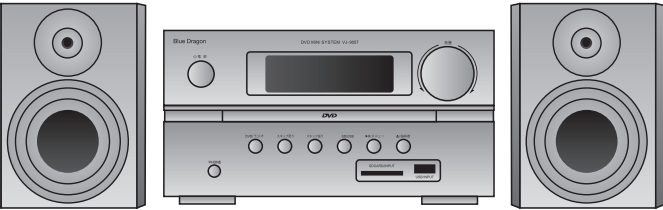
■故障等を防止するために、次のような場所には置かないでください。

- ・湿気やほこりの多い所
 - ・不安定な所
 - ・熱器具の近く
 - ・OA機器や蛍光灯のすぐそば
 - ・風通しの悪い所
- ・直射日光の当たる所
 - ・極端に寒い所
 - ・振動の激しい所
 - ・テレビや他のアンプ、チューナーのそば
 - ・磁気を発生する所

■スピーカーは右・左とも同じ形です。どちらに置いても同じです。

■本体とスピーカーは1cm以上離してください。

■長期間使用しないときは、節電のため電源を切り、電源アダプターをコンセントから抜いてください。



⚠ 注意

- ・付属のスピーカー以外はご使用できません。
 - ・スピーカーは防磁設計ではありません。
- ※パソコンやテレビなどの近くに置く場合は、10cm以上離してください。

本機を移動するとき

①CD、SD、USBをすべて取る。
②電源を「OFF」にする。
③電源プラグを抜く。

※上記操作を行わないと、故障の原因になります。

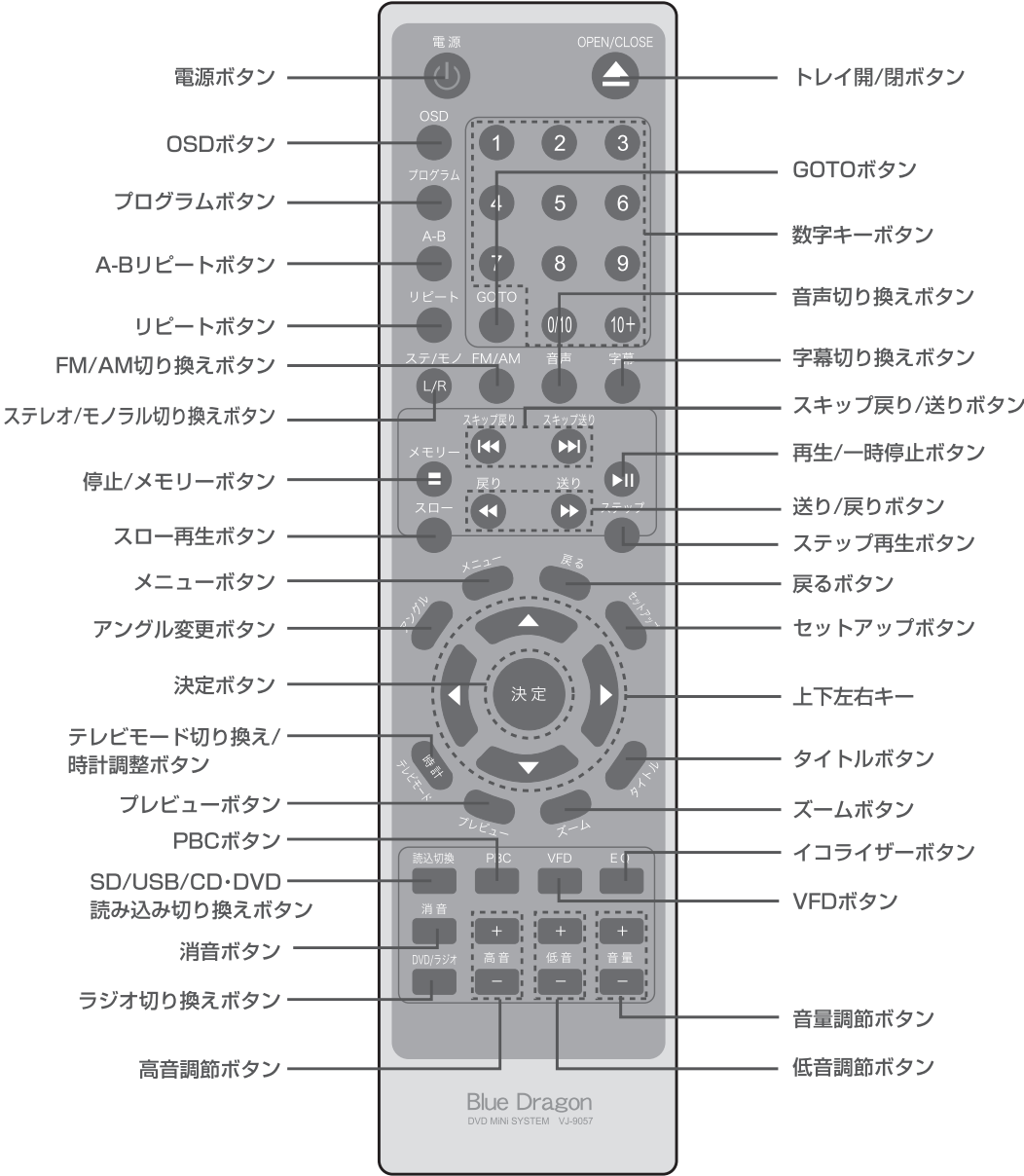
本体の掃除

柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布に付けてふき、あとから乾拭きしてください。

シンナー・ベンジン・アルコール等の化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。

各部のなまえ

リモコンについて

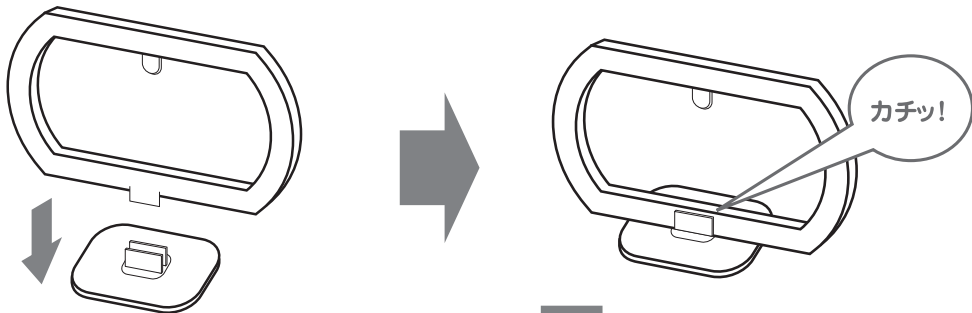


本書の説明について
リモコンのボタンを使って操作説明をしています。本体に同じマークのボタンがある場合には、本体のボタンもお使いいただけます。

接続の仕方(つづき)

AMループアンテナ

1 右の図のようにAMループアンテナ土台の溝へ差込みます。

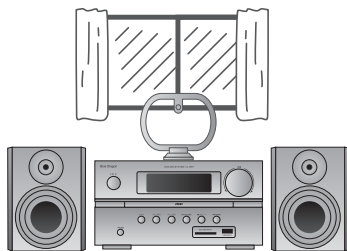


2 AMループアンテナのコードを本体のAM端子に差込みます。



3 つないだ後、感度の良い場所(窓際など)へセットしてください。

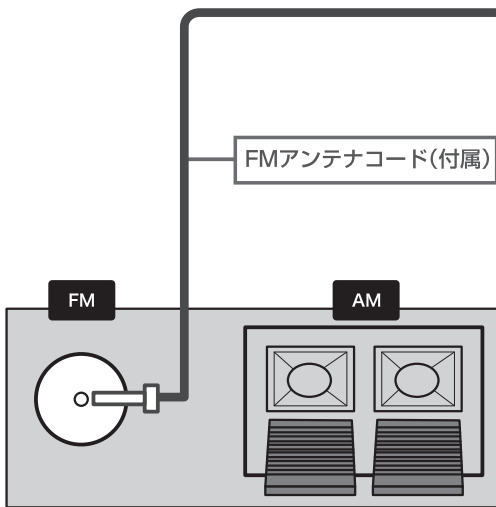
※鉄筋属モルタルの住宅では受信感度の悪い場合があります。
※本製品は強電界に対応しております。



接続の仕方(つづき)

FMアンテナ

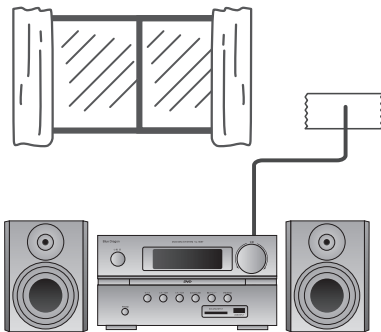
1 本体のFM端子にFMアンテナコードを差込みます。



本体背面

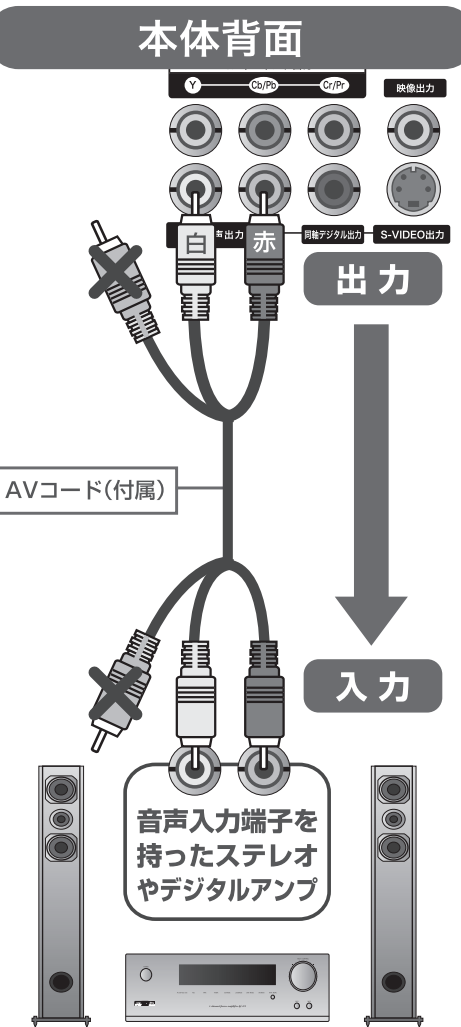
2 つないだ後、感度の良い場所(窓際など)へセットしてテープ等で止めます。

※鉄筋属モルタルの住宅では受信感度の悪い場合があります。
※本製品は強電界に対応しております。



外部音声出力

1 本体側の音声出力端子と、別売りのアンプまたはスピーカーの音声入力端子を接続してください。



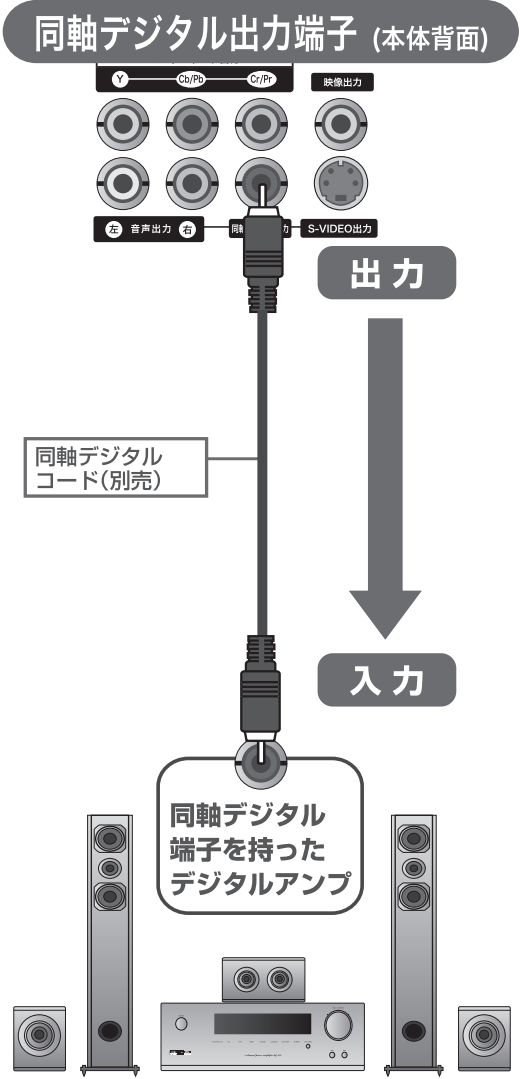
⚠ 注意

電源を持たないスピーカーを直接本体に接続すると、各スピーカーへの電力供給が少なくなり音量が低下します。外部アンプを通しての出力をおすすめします。

接続の仕方(つづき)

外部デジタル音声出力

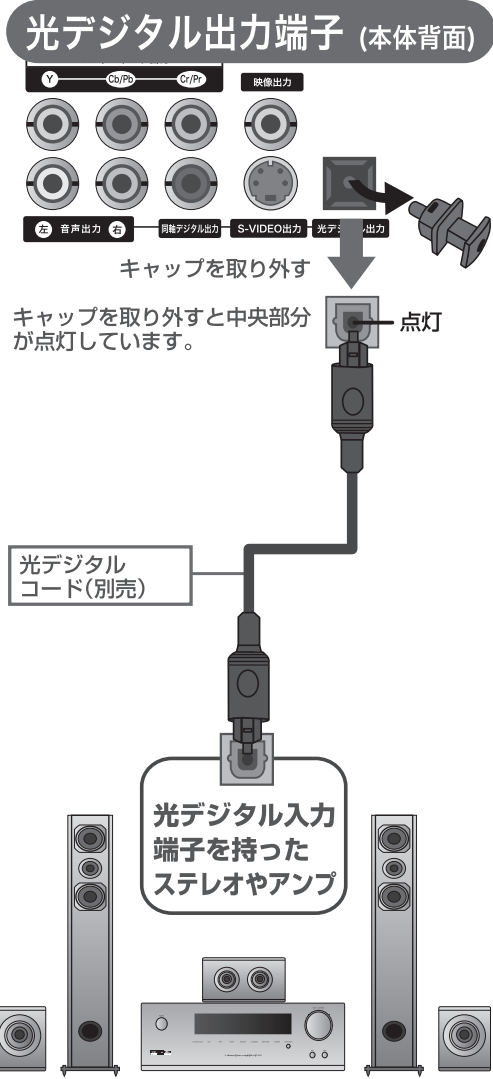
- 1 本体側の同軸デジタル出力端子と別売りの同軸デジタル対応アンプを接続してください。



注意 5.1チャンネルで音声をお楽しみいただくためにはオーディオセットアップ設定(36P)をお読みください。

外部光デジタル音声出力

- 1 本体側の光デジタル出力端子と、別売りのアンプまたはスピーカーの光デジタル入力端子を接続してください。



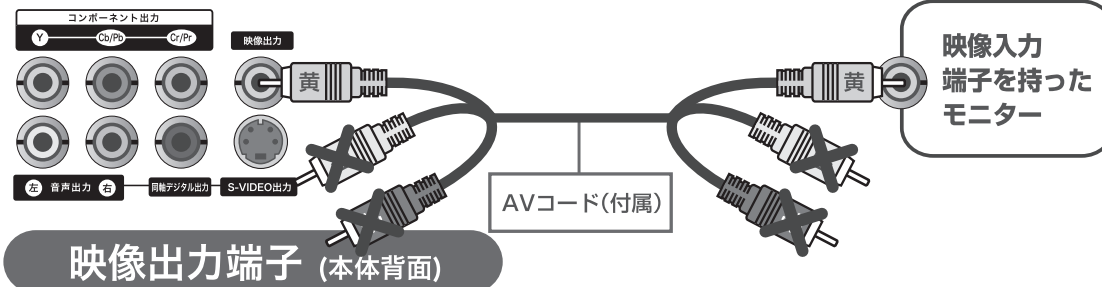
注意 5.1チャンネルで音声をお楽しみいただくためにはオーディオセットアップ設定(36P)をお読みください。

接続の仕方(つづき)

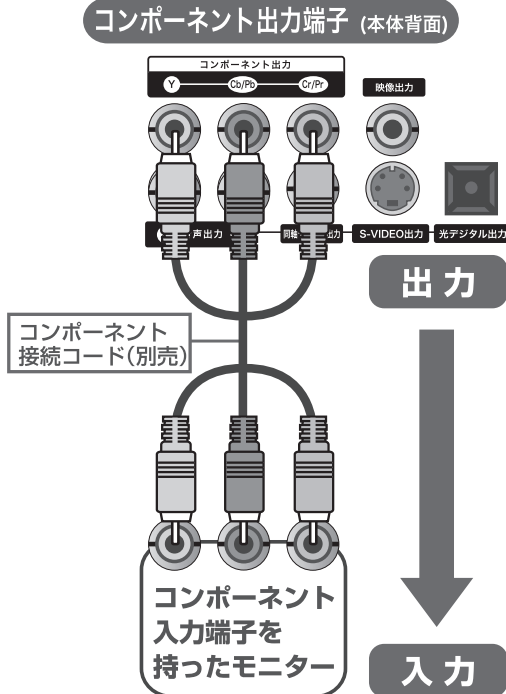
本体とモニターを接続する



- 1 本体側の映像出力端子とモニター側の映像入力端子を接続してください。

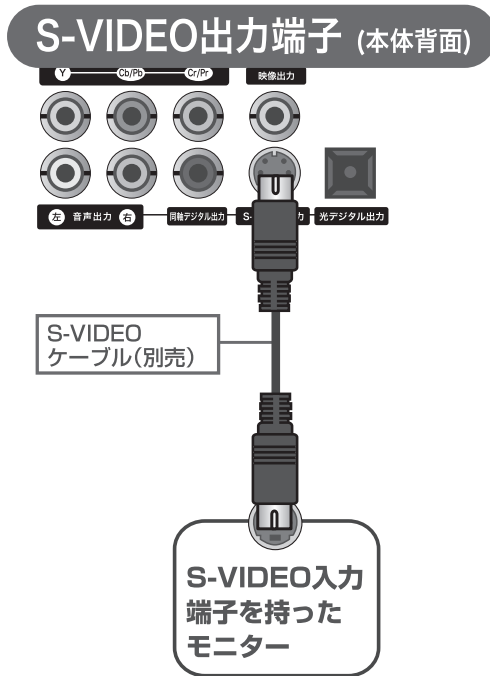


- 1 本体側の同軸デジタル端子と別売りの同軸デジタル対応アンプを接続してください。



注意 ※テレビによりコンポーネント入力・S-VIDEO入力ポートが無いものもあります。
※本製品とテレビ・アンプ等の電源がOFFになっている事を確認後接続をおこなってください。
※コンポーネント出力とビデオ出力またはS-ビデオ出力を同時に使用しないでください。

- 1 本体側の音声出力端子と、別売りのアンプまたはスピーカーの音声入力端子を接続してください。

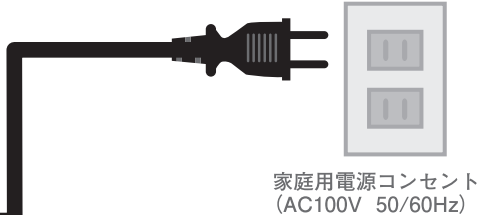


接続の仕方(つづき)

電源コードを接続する

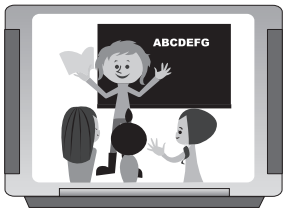
- 1 電源プラグは全ての接続が終わってから接続してください。

注意 電源コードは「安全上のご注意」をお読みの上、正しく取り扱ってください。



正しく接続されているか確認する

- 1 テレビまたはモニタの電源を入れ、本機を接続した外部入力に切り換える(テレビ・モニタ用リモコンにて外部入力のビデオ1などに設定変更する)。



一般放送表示画面



外部入力に切り換える



外部入力表示画面

- 2 本体の電源ボタン、またはリモコンの電源ボタンを押してを本体の電源をオンにすると起動画面が表示されます。

※表示されない場合はコードの接続が正しいか確認し、システムセットアップより映像出力の設定を変更してください。

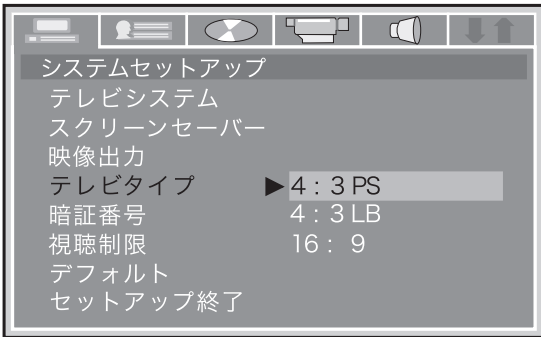


起動画面

テレビタイプをかえる

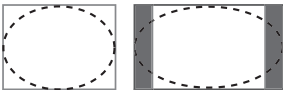
テレビの画面タイプに合わせる

- 1 リモコンの **セットアップ** ボタンを押してシステムセットアップ画面を呼び出します。
- 2 リモコンの **テレビタイプ** ボタンを押してテレビタイプを選択します。
- 3 リモコンの **決定** ボタンを押してテレビ画面比率を選択し、**決定** を押して下さい。



4:3PS

通常の4:3型のテレビに接続したときに選択します。ワイドスクリーン映像を再生した場合は左右がカットされます。



4:3LB (4:3の画面を16:9の画面に変更)

通常の4:3型のテレビに接続したときに選択します。ワイドスクリーン映像を再生した場合は上下に黒い帯が表示されます。



ワイド

本機を16:9型ワイドスクリーンテレビに接続するときに選択します。



注意 DVDに記録されている表示比率により画面表示が異なる場合があります。

本体の基本操作

操作方法は主にリモコンを用いた説明をしています。本体にもリモコンと同じ表示がある場合、同様を行なうことができます。



時計の設定をする

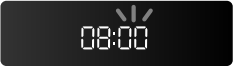
- 1 **時計** ボタンを押してください。



・「時」表示が点滅します。

- 2 **← →** ボタンを押して「時」を設定してください。

- 3 **時計** ボタンを押してください。



・「分」表示が点滅します。

- 4 **← →** ボタンを押して「分」を設定してください。

- 5 設定が終了したら **時計** ボタンを押してください。



注意

・時計の設定は電源OFF時に行なってください。
・電源コードを抜いたり、停電があった時は再度時計を合わせて下さい。

電源を入れる/切る

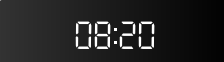
- 電源 **電源** ボタンを押してください。

電源をONにしたとき



「CLOSE」と表示されます。

電源をOFFにしたとき



時計が表示されます。

音量を調節する

- 音量 **+** **-** ボタンを押してください。
本体の音量調節ダイヤルでも調節できます。

- +** 音量が大きくなります。 **-** 音量が小さくなります。

※0～60までの範囲で設定できます。

※一度電源をOFFにすると初期設定値に戻ります。

音を消音(ミュート)する

- 消音 **消音** ボタンを押してください。

二回押すと音が出ます。

低音を強調する

- 低音 **+** **-** ボタンを押してください。

※0～14までの範囲で設定できます。

高音を強調する

- 高音 **+** **-** ボタンを押してください。

※0～14までの範囲で設定できます。

イコライザー機能

- EQ **EQ** ボタンを押します。



※ボタンを押すごとに上記のサラウンド効果を擬似的に再現することができます。

ラジオを聞く

FM放送・AM放送を受信する



- 1 **DVD/ラジオ** ボタンを押してラジオモードにしてください。

- 2 **FM/AM** ボタンを押してAM局かFM局を選局してください。

- 3 **戻る** **送り** ボタンを押してお好みの周波数に合わせてください。

※ボタンを長押しすると放送局がある場所で止まります。
受信できる放送局が見つからない場合は止まりません。

お好みの放送局を登録する

- 4 お好みの周波数が表示させた状態で **メモリ** **メモリ** ボタンを押して下さい。



メモリボタンを押す



チャンネル番号が点滅します

- 5 **スキップ戻り** **スキップ送り** ボタン、または **1** ～ **10+** ボタンでお好みのチャンネル番号を選び **メモリ** **メモリ** ボタンを押して登録します。

※最大40局まで記憶させることができます。

※すでに周波数が登録されているチャンネルの場合は元の登録は消去されます。

記憶させた放送局を呼び出す

- 6 **スキップ戻り** **スキップ送り** ボタン、または **1** ～ **10+** ボタンでお好みのチャンネル番号を選んでください。



注意

受信感度が悪い場合は12・13Pを参照してアンテナの位置を変向してください。

ディスクを再生する

オーディオCD・DVDビデオディスクの再生について

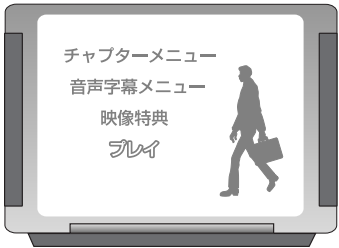
- 1 テレビの電源を入れ、本体との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。
- 2 本体の電源を入れる。
- 3  ボタンを押してディスクトレイを開き、ディスクを挿入します。



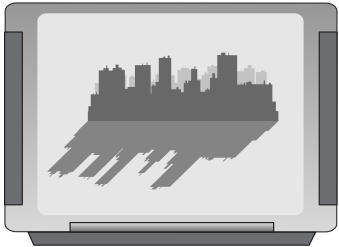
メニューが表示された時

市販のDVDなどを入れて、メニュー画面が表示されたら、画面に従って操作してください。

- 1 テレビの電源を入れ、本体との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。
- 2  で項目を選んでください。



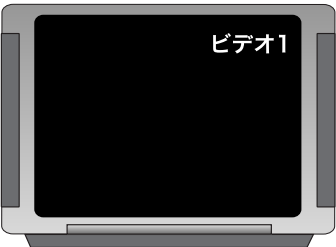
- 3  を押して再生してください。



オーディオCDの再生

音楽CDを入れると、上部分に収録曲情報が表示され、自動的に再生が始まります。

- 1 テレビの電源を入れ、本体との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。
※オーディオCDの再生はモニターに表示しなくても行なうことができます。

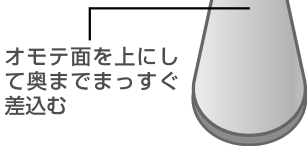
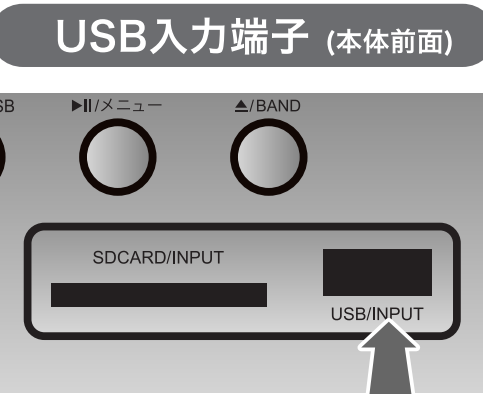


- 2 オーディオCDを入れると、上部分に収録曲情報が表示され、自動的に再生が始まります。
※MP3形式で保存されているものに関しては表示が異なります。

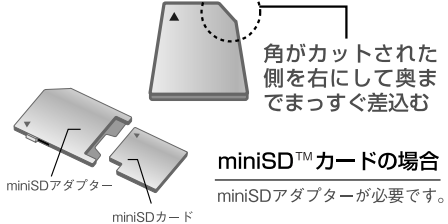
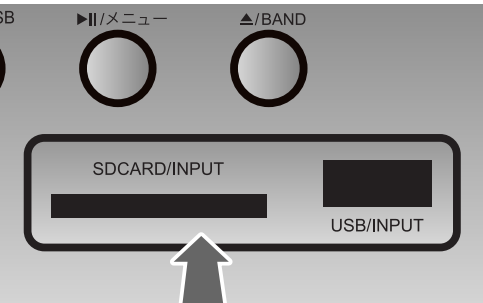


外部メディアの読み込みについて

USB・SDカードの接続



SDカード入力端子（本体前面）



注意 データの読み込み中や再生中にはショックを与えたりカードの出し入れは行なわないでください。

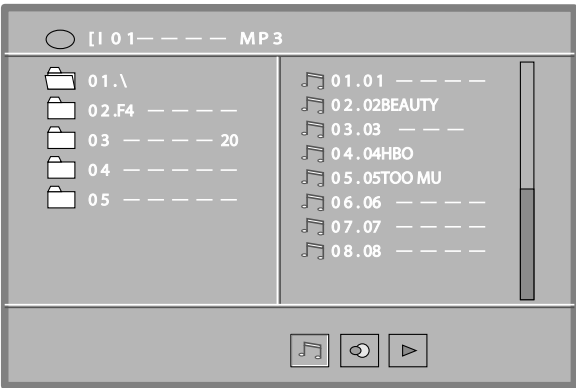
USB・SDカードの読み込み

- 1  ボタンを押してメディア選択画面を表示してください。



※メディア選択画面

- 2  ボタンを押して読み込みたいメディアを選択してください。
- 3  を押すとメディア内の情報が表示されます。



※USBメモリやSDカード内の読み込み可能なデータ一覧

注意

USBメモリとSDカードの取扱いについては5ページをご覧ください。

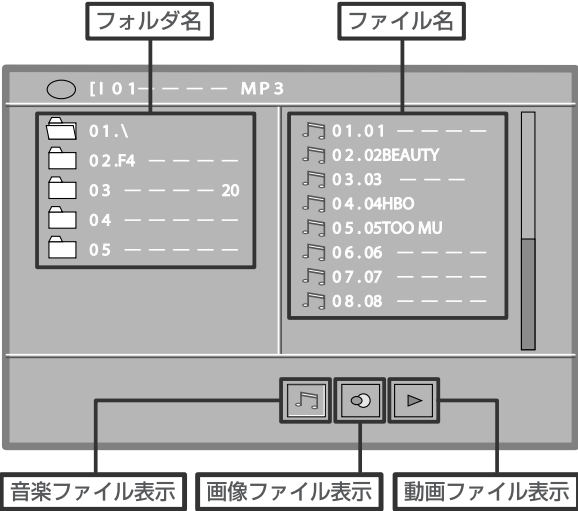
いろいろなファイル形式を再生する

読み込み可能なファイル

- MP3** 元の音質を損なうことなく情報量を10分の1に圧縮できる音声圧縮方式です。本機では、パソコンなどでDVD・CDに記録したMP3方式の音声を再生できます。
※著作権保護機能のかかったものは再生できません。
- WMA** 米国Microsoft Corporationで開発された音声圧縮フォーマットです。これによりMP3より小さいファイルで同等の音質が実現できます。
- JPEG** JPEG（ジェイベグ）とは、コンピュータなどで扱われる静止画像のデジタルデータを圧縮する方式のひとつ。
- DIVX** DivXは、DivX, Inc.により開発された人気の高いメディアテクノロジーです。DivXメディアファイルには、比較的小さなファイルサイズで高いビジュアル品質を持つ高圧縮ビデオが収録されています。また、DivXメディアファイルはメニューや字幕、代替オーディオトラック等の高度なメディア機能に対応しています。DivXメディアファイルの多くはオンラインでダウンロードすることが可能です。

注意 記録状態により音と映像が乱れたり、再生できない場合があります。

ファイルを選択する

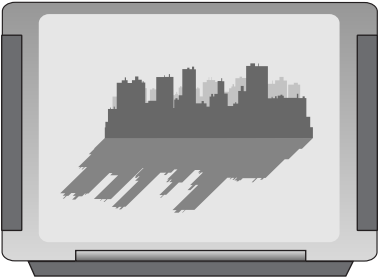


- 1 再生/停止ボタンでファイルの種類を選んでください。
- 2 決定ボタンを押して上下ボタンでフォルダを選んでください。
- 3 決定ボタンを押して上下ボタンでファイルを選んでください。
- 4 決定ボタンを選んで再生してください。

MP3・WMAファイルの再生

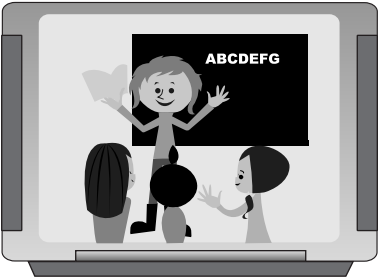


再生中のファイルは が点滅します。
JPEGファイルの再生



選択したJPEGファイルを表示します。
※保存したサイズや状態により再生できない場合があります。

DIVXファイルの再生



選択したDIVXファイルを再生します。
※バージョン4.11、5.11、6.11以外のDivXファイルは再生できません。

再生言語を切り換える

音声を切り換える

- ・再生中のディスクに複数の音声データが含まれている場合、音声を切り換えることができます。
- ・電源を切るまで、選ばれた音声のままになります。

ディスクを再生している時

- 1 音声ボタンを押して切り換えます。押すごとに内容により再生言語が変わります。



(例) 複数の音声言語を含むディスクの場合

- | | |
|-----|-----|
| [1] | 英語 |
| [2] | 日本語 |
| [3] | 英語 |
| [4] | 日本語 |
| 言語 | |

- | |
|-------|
| 2CH |
| 2CH |
| 5.1CH |
| 5.1CH |
| 音声属性 |

ディスクに5種類の言語属性が含まれる場合

字幕表示を切り換える

- ・字幕データが複数記録されたディスクに働きます。

ディスクを再生している時

- 1 字幕ボタンを押して切り換えます。押すごとに内容により字幕が変わります。



(例) 複数の字幕言語を含むディスクの場合



- | | |
|-----|-----|
| [1] | 日本語 |
| [2] | 英語 |
| [3] | オフ |

注意 ※字幕が記録されていないディスクでも字幕番号が表示されることがあります。

好きな順番に再生する(MP3)



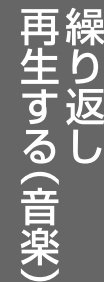
⚠ 注意 プログラムをクリアする場合には選択項目より「クリア」を選んでください。

任意の区間を繰り返し
再生する(動画・音楽・MP3)

- | 説明番号 | ① | ② | ③ |
|------|-------|---------|-----------|
| 表示順序 | リピートA | A-Bリピート | A-B キャンセル |

再生する(動画)

- ⚠ 注意** プログラムをクリアする場合には選択項目より「クリア」を選んでください。
ディスクによりリピー特できないものもあります。



- ⚠ 注意** プログラムをクリアする場合には選択項目より「クリア」を選んでください。
ディスクによりリピードできないものもあります。



- 注意** プログラムをクリアする場合には選択項目より「クリア」を選んでください。
ディスクによりリピー特できないものもあります。



再生中のいろいろな操作(つづき)

指定した位置を再生する(動画)

- 1 ^{GOTO}  ボタンを押して再生位置指定項目を表示してください。
- DVD

タイトル 1/4

CHAPTER 10/28

 -00:00:18
- メディアの種類

タイトル番号

CHAPTER番号
- 2   を押して再生開始位置を指定したい項目に移動してください。
- 3  ~  を押して再生を開始したい番号を入力してください。
- 4 入力が完了したら  ボタンを押して再生してください。
- 注意** ディスクにより対応していないものもあります。

指定した位置を再生する(音楽・MP3)

- 1 ^{GOTO}  ボタンを押して再生位置指定項目を表示してください。
- CDrom

トラック 2/40

   -00:04:18
- メディアの種類

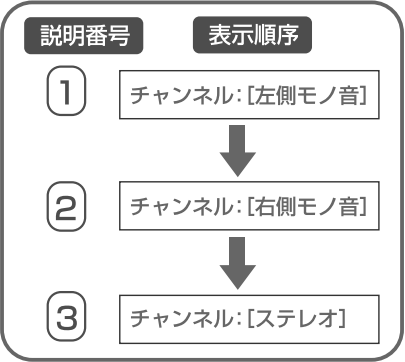
再生曲番・収録曲数

再生時間
- 2   を押して再生開始位置を指定したい項目に移動してください。
- 3  ~  を押して再生を開始したい番号を入力してください。
- 4 入力が完了したら  ボタンを押して再生してください。
- 注意** ディスクにより対応していないものもあります。

再生中のいろいろな操作(つづき)

ステレオ/モノラルを切り換える(音楽・MP3)

- 1 ^{ステ/モノ}  ボタンを1回押すと音声出力が左側からのモノラル音にかわります。
- 2 ^{ステ/モノ}  ボタンを2回押すと音声出力が右側からのモノラル音にかわります。
- 3 ^{ステ/モノ}  ボタンを3回押すと音声出力がステレオ音にかわります。
- 注意** ディスクにより対応していないものもあります。



スキップ戻る・送る(動画)

- 1 スキップ戻り  ボタンを押すとCHAPTER単位で戻ります。
- 2 スキップ送り  ボタンを押すとCHAPTER単位で送ります。

スキップ戻る・送る(音楽・MP3)

- 1 スキップ戻り  ボタンを押すと1曲単位で戻ります。
- 2 スキップ送り  ボタンを押すと1曲単位で送ります。

再生を停止する(動画・音楽・MP3)

- 1  ボタンを押すと再生が停止します。
- 2  ボタンを押すと再生が一時停止します。

1コマずつ再生する(動画)

- 1 ^{ステップ}  ボタンを押すごとに1コマずつ再生されます。
- 2  ボタンを押すとステップ再生が終了します。

再生中のいろいろな操作(つづき)

倍速で戻る
(動画・音楽・MP3)

1

戻り

◀◀

ボタンを押すと倍速で戻ります。

押した回数により戻る速度はかわります。

戻り

◀◀

1回

2倍速

戻り

◀◀

2回

4倍速

戻り

◀◀

3回

8倍速

戻り

◀◀

4回

20倍速

戻り

◀◀

5回

通常再生

⚠ 注意

ディスクにより対応していないものもあります。倍速再生中には音声が出ません。

倍速で送る
(動画・音楽・MP3)

1

送り

▶▶

ボタンを押すと倍速で送ります。

押した回数により送る速度はかわります。

送り

▶▶

1回

2倍速

送り

▶▶

2回

4倍速

送り

▶▶

3回

8倍速

送り

▶▶

4回

20倍速

送り

▶▶

5回

通常再生

⚠ 注意

ディスクにより対応していないものもあります。倍速再生中には音声が出ません。

低速で送る・戻る
(動画・音楽・MP3)

1

スロー

◯

ボタンを押すと低速で送ります。

押した回数により送る速度はかわります。

スロー

◯

1回

1/2倍速送り

スロー

◯

2回

1/3倍速送り

スロー

◯

3回

1/4倍速送り

スロー

◯

4回

1/5倍速送り

スロー

◯

5回

1/6倍速送り

スロー

◯

6回

1/7倍速送り

スロー

◯

7回

1/2倍速戻し

スロー

◯

8回

1/3倍速戻し

スロー

◯

9回

1/4倍速戻し

スロー

◯

10回

1/5倍速戻し

スロー

◯

11回

1/6倍速戻し

スロー

◯

12回

1/7倍速戻し

スロー

◯

13回

通常再生

⚠ 注意

ディスクにより対応していないものもあります。低速再生中には音声が出ません。

再生中のいろいろな操作(つづき)

アングルを
かえる(動画)

1

アングル

◻

ボタンを押すとアングルが切り替わります。

⚠ 注意

マルチアングル機能に対応したディスクでのみ機能します。

メニュー再生
のオン・オフ
(動画)

1

メニュー

◻

ボタンを二回続けて押すとメニュー再生のオン・オフが切り換わります。

⚠ 注意

VCDに関してはPBC ◻ ボタンを押してください。

1つ前の選択
画面へもどる
(動画)

1

戻る

◀

ボタンを押すと選択する一つ前の画面に戻ります。

タイトル画面を
表示する(動画)

1

タイトル

◻

ボタンを押すとタイトル画面を表示します。

拡大・縮小して
再生する(動画・画像)

1

ズーム

◻

ボタンを押すと表示サイズの拡大・縮小を行ないます。

押した回数により表示サイズがかわります。

ズーム

◻

1回

拡大1

ズーム

◻

2回

拡大2

ズーム

◻

3回

拡大3

ズーム

◻

4回

縮小1

ズーム

◻

5回

縮小2

ズーム

◻

6回

縮小3

ズーム

◻

7回

通常表示

⚠ 注意

ディスクにより対応していないものもあります。

再生中のいろいろな操作(つづき)

プレビュー画面を表示(VCD)

1

プレビューボタンを押すとプレビュー画面を表示します。

注意

プレビュー機能はVCDにのみ対応しています。

映像出力を切り換える

1

テレビモードボタンを押すと映像出力が切り換わります。
※映像出力の詳細については33ページをご参照ください。

グラフィックイコライザー表示切換

1

VFDボタンを押すと本体液晶部分のグラフィックイコライザーの表示を切り換えます。



初期設定を変更する

- 1

セットアップボタンを押すとセットアップ(初期設定)画面を呼び出します。
- 2

方向キーで変更したい項目を選び、決定を押してください。

システムセットアップ

テレビシステム

システムセットアップ

テレビシステム ▶ NTSC

スクリーンセーバー PAL60

映像出力 PAL

テレビタイプ オート

暗証番号

視聴制限

デフォルト

セットアップ終了

映像出力

システムセットアップ

テレビシステム

スクリーンセーバー

映像出力 ▶ INTERLACE-YUV

テレビタイプ TV-RGB

暗証番号 P-SCAN YPBPR

視聴制限 S-VIDEO

デフォルト

セットアップ終了

テレビ放送方式はNTSCに設定されています。 おつなぎの出力端子に合わせて設定してください。

注意 NTSCを変更すると表示形式が異なり画面表示ができなくなります。通常のご使用に関してはNTSC方式でお使いください。

スクリーンセーバー

システムセットアップ

テレビシステム

スクリーンセーバー ▶ オン

映像出力 オフ

テレビタイプ

暗証番号

視聴制限

デフォルト

セットアップ終了

待ち受け時のスクリーンセーバーの設定をします。

出力端子の種類	本体側の設定
映像出力端子	INTERLACE-YUV TV-RGB
コンポーネント出力端子	P-SCAN YPBPR
S-VIDEO出力端子	S-VIDEO

注意 出力端子の接続方法に関しては別途15Pをご参照ください。

初期設定を変更する(つづき)

テレビタイプ



おつなぎのモニターに合わせて設定してください。

注意 詳しい接続方法に関しては別途 17 Pをご参照ください。

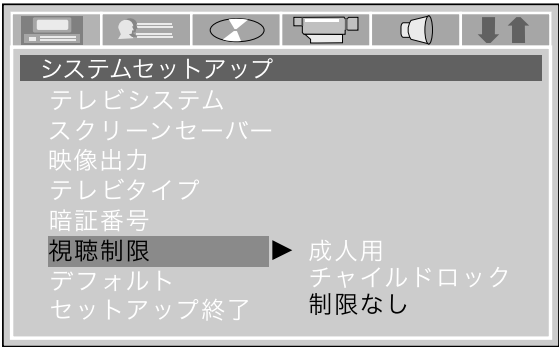
暗証番号



暗証番号を設定することができます。

注意 工場出荷時のパスワードは「9999」に設定されています。暗証番号を忘れてしまったときはこのパスワードで変更することができます。

視聴制限



DVDの視聴年齢を制限することができます。

対象年齢	本体側の設定
18才以上	成人用
13才以下	チャイルドロック
全年齢	制限なし

注意 視聴制限を変更する場合には暗証番号を入力しロックを解除した状態にしてください。

デフォルト



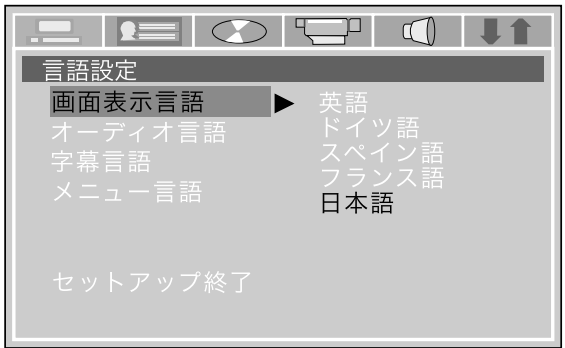
全ての設定を工場出荷時の状態に戻します。

注意 パスワードは工場出荷時の状態には戻りません。

初期設定を変更する(つづき)

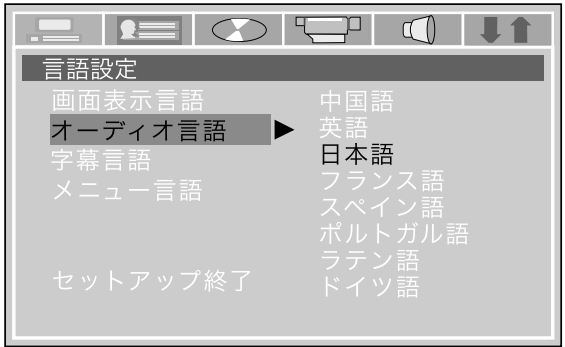
言語設定

画面表示言語



設定メニューなどに表示される言語を設定することができます。

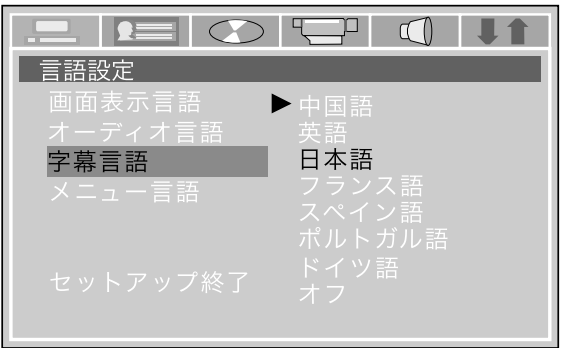
オーディオ言語



本機が対応しているオーディオ言語の一覧を表示します。

注意 ここではオーディオ言語の変更を行なうことができません。

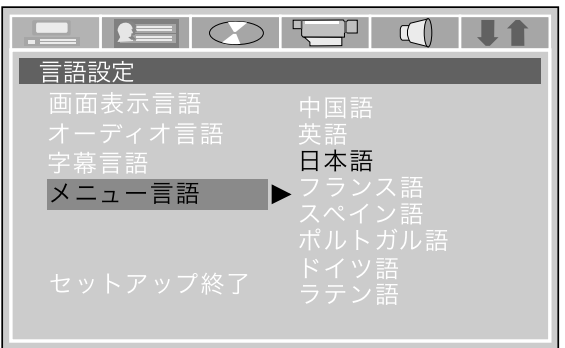
字幕言語



本機が対応している字幕言語の一覧を表示します。

注意 ここでは字幕言語の変更を行なうことができません。

メニュー言語



本機が対応しているメニュー言語の一覧を表示します。

注意 ここではメニュー言語の変更を行なうことができません。

初期設定を変更する(つづき)

オーディオセットアップ



使用しているスピーカー・ケーブル・アンプ等に
合わせて設定してください。

アナログ

デジタル同軸・光デジタル以外のでの接続はこ
ちらを選択してください。

SPDIF/RAW

デジタル同軸・光デジタル接続にて5.1chアンプ
と接続する場合に設定してください。

SPDIF/PCM

デジタル同軸・光デジタル接続にて2.1chアンプ
と接続する場合に設定してください。

注意

スピーカー・ケーブル・アンプ等の接続に関し
ては13・14Pをご参照ください。



音の高低を調節することができます。

▲を押すと音程が高くなります。

▼を押すと音程が低くなります。

注意

- 音階を調節することにより音質が変わりま
すのでご注意ください。
- 再生時に音程が高すぎる、低すぎると感じら
れたときは音階設定が“0”になっているかを
ご確認ください。



初期設定を変更する(つづき)

映像出力

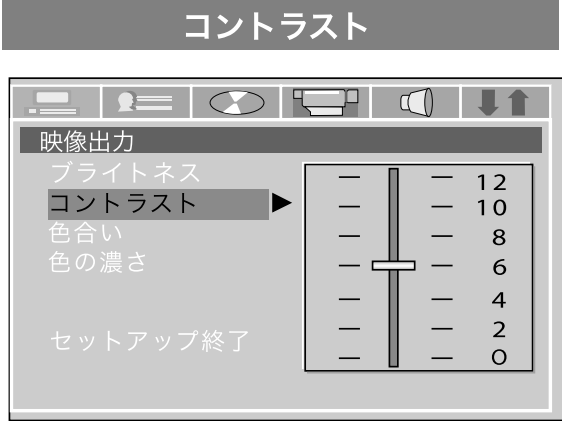


画面表示の明るさを調整します。

▲を押すと明るくなります。

▼を押すと暗くなります。

※標準値は6に設定されています。

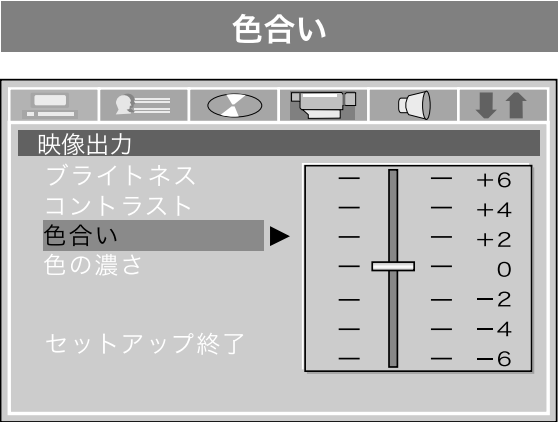


画面表示のコントラストを調整します。

▲を押すとコントラストが強くなります。

▼を押すとコントラストが弱くなります。

※標準値は6に設定されています。

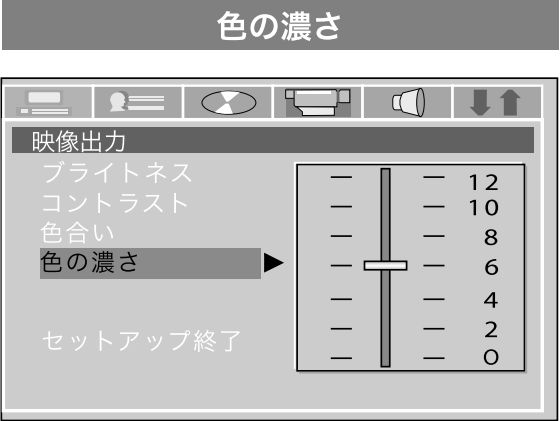


画面表示の色合いを調整します。

▲を押すと全体的に赤くなります。

▼を押すと全体的に青くなります。

※標準値は0に設定されています。



画面表示の色の濃さを調整します。

▲を押すと全体の色が濃くなります。

▼を押すと全体の色が薄くなります。

※標準値は0に設定されています。

初期設定を変更する(つづき)

スピーカーセットアップ



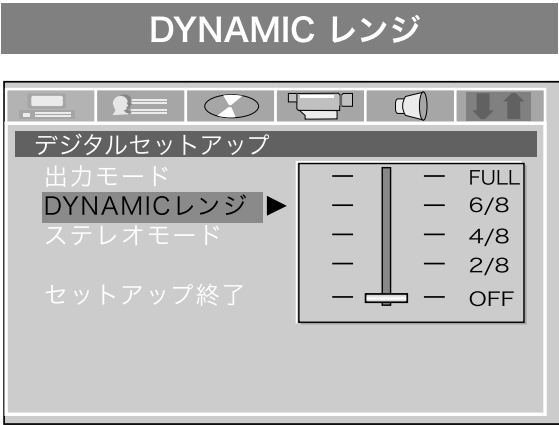
外部アンプ・スピーカーに接続する際にタイプに合わせて変更してください。

- LT/RT**
モノラル音声出力に対応しています。
- ステレオ**
ステレオ音声出力に対応しています。

デジタルセットアップ



- ライン出力** 通常の音量で再生します。
- RF調整** 最大音量を大きくして再生します。



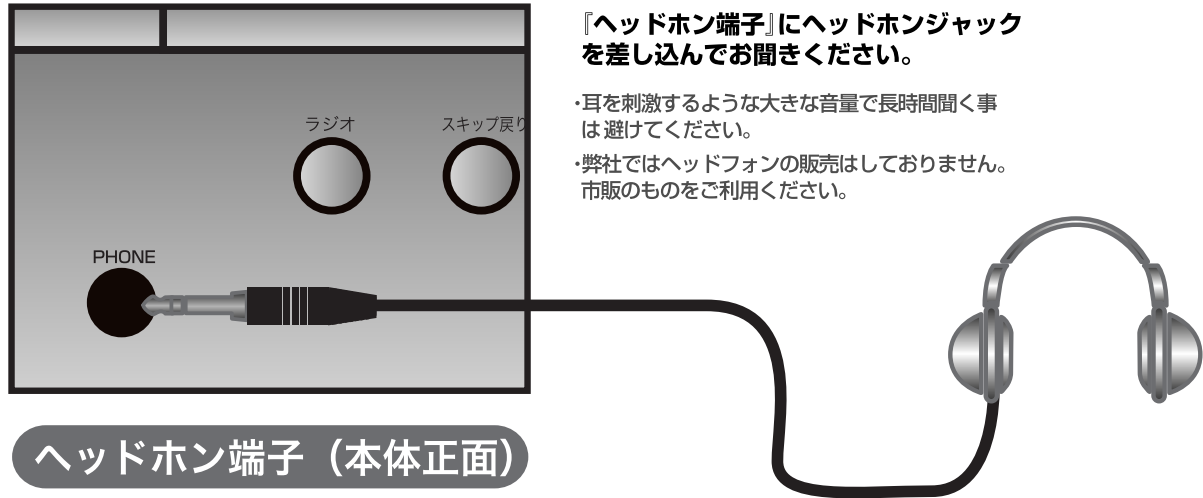
最小音量と最大音量の範囲を調整します。
▲を押すと音幅が狭くなります。
▼を押すと音幅が広がります。
※標準値はOFFに設定されています。



- ステレオの出力設定を行ないます。
- ステレオ** 左右音声出力する場合。
- 左側モノ音** 左音声主体に出力する場合。
- 右側モノ音** 右音声主体に出力する場合。
- 混合モノ音** 左右混合して音声出力する場合。

ヘッドホン(別売)を使って聞く

イヤホン端子に接続する



『ヘッドホン端子』にヘッドホンジャックを差し込んでお聞きください。

- ・耳を刺激するような大きな音量で長時間聞く事は避けてください。
- ・弊社ではヘッドフォンの販売はしておりません。市販のものをご利用ください。

仕様について

本体サイズ	幅235×奥行き340×高さ220mm	本体重量	約2.9kg	許容動作温度	5～35℃
スピーカーサイズ	幅127×奥行き141×高さ169mm	スピーカー重量	1.0kg (1個)	音声周波特性	20Hz～20KHz
電 源	AC100V 50/60Hz	S / N 比	90db 以上	コ ー ド 長 さ	約 1.5 m
消 費 電 力	本体:35W スピーカー:10W×2	USBポート	USB1.1	テレビシステム	PAL・NTSC
信 号 形 式	日米標準NTSC方式	映像出力	1.0V(P-P)75Ω		
材 質	本体:スチール スピーカー:MDF	S-映像出力	1.0V(P-P)75Ω (Y) 0.286V(P-P)75Ω (C)		
受 信 感 度	FMラジオ:14dBu/M AMラジオ:50dBu/M				
音 声 出 力	(音声出力)2.0V(P-P) (音声出力ビットストリーム/PCM同軸端子)0.5V(P-P)75Ω (音声出力ビットストリーム/PCM光端子)光コネクタ×1				
対応メディア	DVD/DVD-R/DVD-RW/CD/CD-R/CD-RW/HDCD/USBメモリー/SDメモリーカード/miniSDカード (アダプタ必要)				
対応フォーマット	(DVD-Video)、(DVD-Audio)、(CD-DA)、(VCD)、(WMA) ビットレート:5～192kbps サンプリング周波数:32～320khz (MP3) ビットレート:8～256kbps サンプリング周波数:32～320khz (DivX) 対応バージョン:4.11 5.11 6.11				

故障かな？と思ったら

長時間使用すると、本体が熱を持ちますが、使用には差しつかえありません。

修理を依頼する前に、この表で症状をお確かめください。なお、これらの処置をしても直らない場合には購入された店舗、または「お客様サービス係」までご連絡ください。

	こんなときは	ここをご確認ください	処 置	参照 ページ
システム全体に共通	電源が入っているのに音が出ない。	スピーカーコードがはずれていませんか。	スピーカーコードを正しく接続する。	11
	音の位置が定まらない 左右の音が逆になる。	接続コードが左右逆に接続されていませんか。	スピーカーコード、別売り機器のコードを正しく接続する。	11
	再生中に「ブーン」という音がする。	接続コードの近くに電源コードや蛍光灯がありませんか。	電気器具を本機からできるだけ離す。 電源コードを逆に差し替える。	—
リモコン	リモコン操作ができない。	乾電池の⊕⊖が逆になっていませんか。	⊕⊖を正しく入れる。	7
		乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池と交換する。	7
	他の機器のリモコンで、本機が誤動する。	当社製の機器を同時に使っていませんか。	本機と各機器の距離を離すか、各機器の電源を切る。	—
ラジオ	放送がうまく受信できない。	アンテナは接続していますか。	アンテナを接続してください。	12・13
	放送がうまく受信できない。 雑音、ひずみが多い。	近くに大きなビルや、山がありませんか。	屋外アンテナを使用してみる。	—
		送信所が遠かったり、アンテナの設置場所や向きが悪くありませんか。	付属のアンテナの向きや位置を変えてみる。 屋外アンテナを使うのも一つの方法です。	12・13
		テレビ、ビデオデッキ、パソコン、BSチューナーなどの電源が入っていませんか。	本機と各機器の距離を離すか、各機器の電源を切る。	—
		近くで携帯電話を充電していませんか。		
		アンテナが電源コードに接近していませんか。	アンテナ線と電源コードを離す。	
ディスク(DVD/CD)	テレビに映像が映らない。 画面サイズがおかしい。	テレビの入力は正しいですか。	本機の接続に合わせて、テレビのビデオ入力を切り換える。	16
		システムセットアップで「テレビタイプ」を正しく設定しましたか。	テレビタイプを正しく設定する。	17
	ディスクを入れても再生されない。	規格外のディスクではありませんか。	規格と適合したディスクに取り替える。	6
		本機で再生できるディスクですか。	ディスクのジャケットを確認してください。	—
		「視聴制限」しているディスクではありませんか。	システムセットアップより「視聴制限」の項目を確かめてください。	34
		寒い所から暖かい所に持ってきたなど、急激な温度変化はありませんか。	レンズ部の露つきが考えられます。約一時間待ってから使用する。	—
	特定の箇所が正常に再生しない。操作してもうまく動かない。	ディスクが汚れていませんか。	柔らかい布などでふく。	4

故障かな？と思ったら(つづき)

修理を依頼する前に、この表で症状をお確かめください。なお、これらの処置をしても直らない場合には購入された店舗、または「お客様サービス係」までご連絡ください。

	こんなときは	ここをご確認ください	処 置	参照 ページ
ディスク(DVD/CD)	音声言語、字幕言語が切り換わらない。アングルを変えられない。	再生中のディスクに、複数の言語や字幕、アングルが記録されていますか。	ディスクのジャケットを確認してください。	—
	WMA/MP3ディスクが正しく読み込まれない。	マルチセッションでディスクを作成している場合、セッションの終了処理をしましたか。	セッションの終了処理を行なったWMA/MP3ディスクをご利用ください。	—
	ディスクトレイフタが正しく閉まらない。	—	電源を切り、電源コードを抜いた後、再び電源コードを入れ電源を入れて下さい。	—
SD/USB	操作ができない。	カードは正しく入っていますか。	カードを正しく入れてください。	21
		本機で使用できないカードではありませんか。	本機ではSDカード以外のカードには対応していません。	—
	再生できない。	録音データに著作権保護機能がかかっていませんか。	本機では著作権保護機能のかかったデータには対応していません。	—

Q&A(よくあるご質問)

マルチチャンネル音声を楽しむにはどのような機器が必要か	●光デジタルケーブル ●同軸デジタルケーブル ●同軸デジタル端子対応AVアンプ ※お近くの量販店にてお買い求めください。
別の地域でも使えるか	●本機は日本国内専用で、東日本、西日本関係なく使えます。
海外で買ったDVDビデオビデオCDは再生できるか	●海外のDVDを本機で再生することはできません。 ●日本国内でのDVDソフトのみの再生となります。
映像方式がPALのディスクは再生できるか	●再生できません。(日本国内のテレビ映像方式はPALに対応していません)
ビデオに録画できるか	●ほとんどのDVDはコピー禁止処理がされており、録画できません。

保証とアフターサービス

よくお読みください

保証書

- 保証書は別添付になります。
- 保証書は「お買い上げ日と販売店名」の記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。購入時の領収書も必ず保証書に添付をして下さいますようお願いします。
- 保証書はよくお読みになり大切に保管して下さい。

保証期間

お買い上げ日から1年間です

オークション販売、転売については保証期間であっても保証対象外となりますのでご了承ください。

補修用性能部品の保有期間

当社は、DVD Mini SYSTEMの補修用性能部品を、製造打ち切り後5年保有しています。
注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

持ち込み修理品になります。

出張修理対応はしておりません。

アフターサービスについて

弊社の商品は、持ち込み修理での対応とさせて頂きます。出張での対応は一切致しません。商品に不具合のある場合は、事前に弊社までご連絡戴きお送り頂くか、購入店にお持ち下さる様お願い申し上げます。

修理を依頼

- 取扱い説明書の内容をお確かめいただき、直らない場合は、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店または当社「お客様サービス係」までにご相談下さい。
- 保証期間中は
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店または当社【商品カスタマーセンター電話番号】が修理又は、交換処理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
 - 保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡内容	
品 名	DVD Mini SYSTEM
品 番	VJ-9057
お買い上げ日	年 月 日
故障状況	具体的に説明してください

- 修理料金のしくみ
修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。
【技術料】は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
【部品代】は、修理に使用した部品代です。

【見積代】は、機器の故障原因を調べる際の手数料です。（修理キャンセル時に発生します。）

【送料】は、修理時に発生する、往復の送料はお客様ご負担です。

【商品カスタマーセンター電話番号】

☎022-771-8812

【受付時間】 9:00～18:00
(祝祭日以外の月曜日～金曜日)

名 前 Blue Dragon Audio

商品名 DVD Mini SYSTEM

型 番 VJ-9057

輸入元 株)REALLIFE JAPAN

本 社

宮城県岩沼市下野郷字北谷地243-1
TEL0223-25-6836

東京営業所

東京都新宿区新宿8-4-12石沢ビル4F

【商品カスタマーセンター電話番号】

☎0223-23-7913

受付時間 9:00～18:00 祝祭日以外の月曜日～金曜日

【初期不良お客様発送方法】

※着払いにて、運送会社は佐川急便でお願い致します。

◎集荷問い合わせ先:022-259-1111

※それ以外の運送方法では受け取りできませんのでご注意ください。
※引き取りご希望のお客様はカスタマーセンターまでお電話ください。